

# さくひんてん



イラストは抽選で選んでいます。郵便ハガキ(63円)かハガキの大ききの紙にかいて送ってね!イラストをかいた面の裏側に住所・氏名・学校名・新学年(4月からの学年)を記入してください。  
 《あて先》〒640-8511 七番丁23番地 市役所広報広聴課『こども市報さくひんてん』係  
 ※旧料金のハガキで応募するときは、不足分の切手も貼って送って下さい。クイズの答えのハガキとは、別にしてください。

## ほん この本おもしろいでえ

『ぼくがゆびをばちとならして、きみがおとなになるまえの詩集』  
 斉藤倫/著 高野文子/画 福音館書店/発行  
 詩は難しいものだと思いませんか?この本では小学生の「きみ」とおとなの「ぼく」が、ことばの不思議なことばの持つ意味について話し合います。「ぼく」は「きみ」に持っている本の中から詩をすすめて、2人でその詩を楽しみます。「ぼく」は「きみ」にこう言います。「ひとは、ことばをつくって、こころを、あらわそうとした。それでもあらわせないものが詩になった」  
 詩の意味がわからなくても、感想を言えなくても、詩を好きになってもいいんだよ、と「ぼく」は「きみ」に伝えます。  
 詩は難しいものではなく、いろいろな楽しみ方があることを教えてくれる1冊です。



『ねこの風つくり工場』  
 みずのよしえ/作 いつのかじ/絵 偕成社/発行  
 町の大通りから少しはなれた小高い場所に、ガタンガタン、ウィンウィン、と1日中いそがしそうな音を立てている工場があります。この工場で作られているもの、それは町をふきわたる「風」。そして、その工場ではたらいっているのは、町にくらすねこたちなのです。  
 工場ではたらくねこたちがつくるいろいろな風。いったい今日はどんな風がふいているのでしょうか?風のおいや、空気を感しながら読んでみたくなる1冊です。  
 さしえは紹介した本からとりました。この2冊は市民図書館西分館(TEL 455-3210)にあるよ!



わがやまししょうなんしょうじょぼくめい しんき いんぼしゅう  
**和歌山市少年少女発明クラブ新規クラブ員募集**

創作を楽しむながら豊かな発想力、くふう力、創造力の育成をします。  
**活動内容** 科学・革工作・電子・木工等  
**日時** 5月～翌年3月 毎月第2土曜日・第4土曜日  
**場所** こども科学館3階 実習室  
**対象** 市内在住の小学生、中学生  
**定員** 各32人(抽選)  
 A組(新小学3・4年生) 午前9時30分～正午  
 B組(新小学5年生～中学3年生) 午後1時30分～4時  
**費用** 3,000円(材料費等2,200円 傷害保険料800円)  
**申込** 3月8日(日)までに、こども科学館にて所定の用紙に記入  
**詳しくは** こども科学館 TEL432-0002

**こども市報イラスト展**

令和元年9月から令和2年1月に届いたイラストのうち、こども市報の紙面に掲載しきれなかったものを、市役所1階に展示します!  
**期間** 3月16日(月)～4月6日(月)  
 午前8時30分～午後5時15分 ※土・日を除く  
**場所** 市役所1階 市民ギャラリー  
**詳しくは** 【広報広聴課 TEL435-1009】